

「自分の立ち位置を自覚し、まず一步を踏み出そう」— 年度始めの3年生への呼びかけ。(東階段)

「まったく新しい発想でつくり出された。」

ワクチン開発に関する報道でこのような説明がされていました。「新型コロナウイルスの遺伝子を切り取り…」その後続く説明はよく理解できませんが、短期間で世界中の人々に接種ができるようになるまでには、想像を絶する多くの人々の取り組みがあったのでしょう。

未知のウイルスに対処するためには、前例に頼るわけにはいきません。これまでの知見を総動員しながらも、発想を広げ、様々な可能性に眼を向け、新たな挑戦が必要だったはずで

これを「研究の世界の常」と言ってしまうのは簡単です。しかし、コロナ禍にゆれるこの1年だけを見ても、未曾有の事態に立ち向かうため、多くの場で模索が続き、思い切った変革が起きています。ましてや、皆さんが将来活躍する社会はどのようなになっているのか予測することすら難しくなっています。そのような社会でも、これまでのやり方が通じると考えるのは、いささか楽天的過ぎると思われ

ます。変化の激しい社会に生きる皆さんに求められる力(スキル)とはいったい何なのでしょう。

ワクチン開発

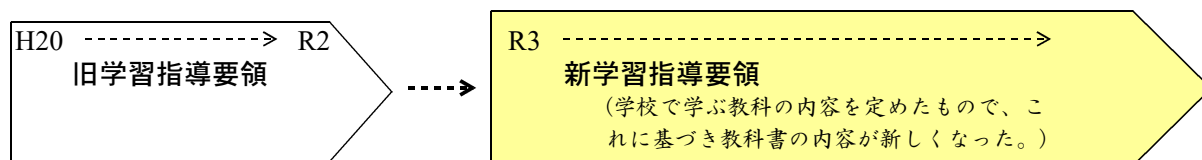
中学3年生の学び①

ー授業が変わるIー

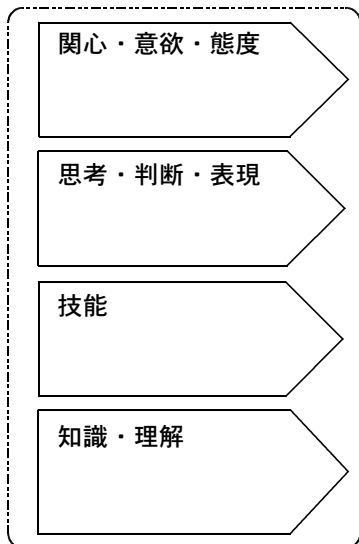
始業式に渡された新しい教科書。手に取りページをめくり何か感じたことはありませんでしたか。いくつかの教科を除き、実は昨年の中3年生が使った教科書とは内容や体裁が少し違っているのです。中学校で学ぶ学習内容は、社会の流れや要請により、ほぼ10年毎に変わってきました。今年はその変わり目に当たり、教科書も改訂されたのです。

今回の改訂でより強調されたのは、教師が「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)を主眼に置いた授業を工夫していくことです。教師が黒板を前に一方的に話し、生徒が解き方や正解を受け身で覚える。そのような授業から、①**主体的**：生徒が学習に関心を持ち見通しをもって取り組めるようにすること。②**対話的**：生徒同士や教師との対話を通して、自分の考え深めること。③**深い学び**：各教科の見方や考え方を生かし、知識を関連させ、問題や課題を見つけ解決していくことができる授業に転換していくことが、生徒を前にして授業をする教師に求められています。

下に示したように、教科の目標が3つに整理され、授業の手立ても変わっていきます。そのため、学習の評価の仕方、最終的には通知票の観点や評価法も変わっていくのです。(次号に続く)

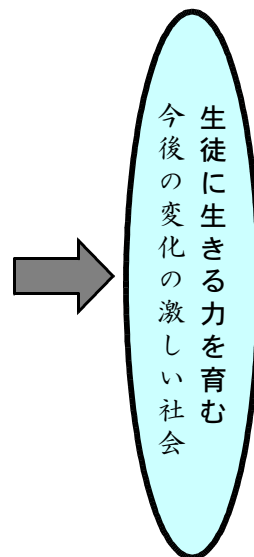
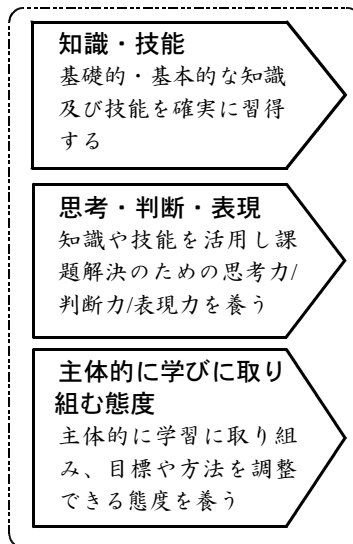


【学習を通して育む資質や能力】 令和2年度(昨年度)まで



授業改善

令和3年度(本年度)から



育みたい資質や能力を3つの柱で再構成

各教科とも3つの観点で学習状況を評価

【学年目標】 ■自ら判断し行動し下級生の模範となる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338